

YUUKI TSUKIYAMA

築山有城 展「垂木フィクション」

2015年12月5日(土) - 1月23日(土)

アーティストトーク：12月5日(土) 17:00-17:30 Slit Bar : 12月5日(土) 18:00-19:00

ギャラリーあしやシューレでは2015年12月5日(土)~2016年1月23日(土)まで、築山有城(b.1976~)の個展「垂木フィクション」を開催致します。本展では、排除-受容というものごとの捉え方から、本質を探りだすべく、離散と集合の手法を用いて制作した作品を展示いたします。一見するとリアルでリズムカルに一体化した造形物が、実は見捨てられ、排除されたもの同士の集合体であることに気づきます。私たちが目にとめることもない、取り残されたもの、捨てられそうになったものへの真摯なまなざしや、それら存在への思議が、もの同士のあり方の関係性を問いかけています。虚構と現実が溶解しながら、そこから独創的なイメージを発展させていく築山作品。空間を取り込んだ構成による表現と、素材のディテールに近づく表現を自由に行き来し、彫刻の可能性を探求するエネルギーな展示に、どうぞご期待ください。

築山有城は1976年兵庫県神戸市生まれ。2000年京都造形芸術大学芸術学部美術科彫刻コース卒業。2009年よりCAP(芸術と計画会議)理事。「ひとマルシェ」神戸アートビレッジセンター(神戸2015)、「12の窓」CAP STUDIO Y3(神戸2015)、「びはくルーム」(芦屋市立美術博物館2014)、「NEW CITY ART FAIR」(hpgrp GALLERY NY2014)、「ART OSAKA」ホテルグランヴィア大阪(大阪2013)、「ART FAIR TOKYO」(東京国際フォーラム2012)、「帰ってきたりったいぶつぶつ展~現代作家による立体アート~」(Bunkamura Gallery 東京2011)、「Drawing Exhibition vol.02[ドローイングの距離]」(CAP STUDIO Y3 神戸2011)、「EMERGING DIRECTORS' ART FAIR[ULTRA 004]」(SPIRAL 東京2011)、「日仏交流150周年展覧会 Rendez Vous a la Mer~海で会いましょう」(STUDIO Q2 神戸2008)、「Art from the Rucksack 3, Japan Ireland Artists Exchange Exhibition」(Limerick City Gallery of Art アイルランド2007)、「depositors meeting 5」(art & river bank 東京2007)など、国内外に活躍の場を広げています。また、最近の個展として「CAP STUDIO Y3」(神戸2015)、「ギャラリー揺」(京都2014)、「AU HASARD」(東京2013)、「ART OSAKA」(ホテルグランヴィア大阪2013)、「TEZUKAYAMA GALLERY」(大阪2012)、「神戸アートビレッジセンター」(兵庫2012)、「中之島4117」(大阪2012)等がある。受賞歴として、2009「県展 神戸新聞社賞」(兵庫県立美術館)、1999「しまなみ海道彫刻コンクール 入選」(向島洋らんセンター広島)など。

Artist's Talk

45mm角の垂木はホームセンターや材木店で比較的可んたんに手に入ります。値段もそんなに高くありません。高くない垂木にはよく節が入っていたり、反っていたりします。そうすると、建材としては嫌われます。強度がないので、図面通りに仕上がりづらくなるからです。みんな同じ方向を向いていなくてもいいじゃないか。視点を変えると節や反りには強烈な魅力が備わっていました。嫌われるということは店先に残っているということです。それらを集め、切り、節を抜き、繋ぐ。とてもシンプルな作業が続きました。私の場合、制作に入る時にはおおむね作品完成への道筋が見えています。いつもその前に自問します。「本当にやりたいことをやっているか？」

[展覧会情報]

展覧会名：築山有城展

会期：2015年12月5日(土) - 2016年1月23日(土) 12:00-19:00(最終日17:00まで)

2015年12月20日(日) - 2016年1月8日(金)は冬季休廊。水・木休廊

会場：ギャラリーあしやシューレ

〒659-0016 兵庫県芦屋市親玉塚町3-11 Tel: 0797-20-6629 www.ashiyaschule.com info@ashiyaschule.com

協力：TEZUKAYAMA GALLERY 合名会社 吉野木材 清水商店 C.A.P. (芸術と計画会議)